

能登町の産業動向に関するレポート

能登町商工会
平成30年3月12日

目 次

1. 能登町の概要

(1) 能登町の人口動態 ······	P1
①能登町の人口の推移 ······	P2
②能登町の高齢化率	
(2) 能登町の経済動向	
①能登町の経済循環状況 ······	P3
②能登町の産業別経済循環と生産状況 ······	P4
③能登町の2次産業と3次産業内の生産額の割合 ······	P5
④能登町の産業別就業者の割合 ······	P6
⑤能登町の産業別売上金額の割合 ······	P7
⑥能登町の1人当たりの産業別売上金額の割合 ······	P8
⑦能登町の産業別特化係数（製造業） ······	P9

2. 能登町の1次産業

(1) 能登町の農業 ······	P10
(2) 能登町の林業 ······	P13
(3) 能登町の漁業 ······	P15

3. 能登町の2次産業

(1) 能登町の製造品出荷額の推移 ······	P19
(2) 能登町の製造業従事者数の推移 ······	P19
(3) 能登町の製造業付加価値額の推移 ······	P20
(4) 能登町の商業年間商業販売額の推移 ······	P20
(5) 能登町の商業従業者数の推移 ······	P21

4. 能登町の3次産業

(1) 能登町のサービス業産業別売上高 ······	P22
(2) 能登町のサービス業従業者数 ······	P22
(3) 能登町のサービス業産業別付加価値額 ······	P23

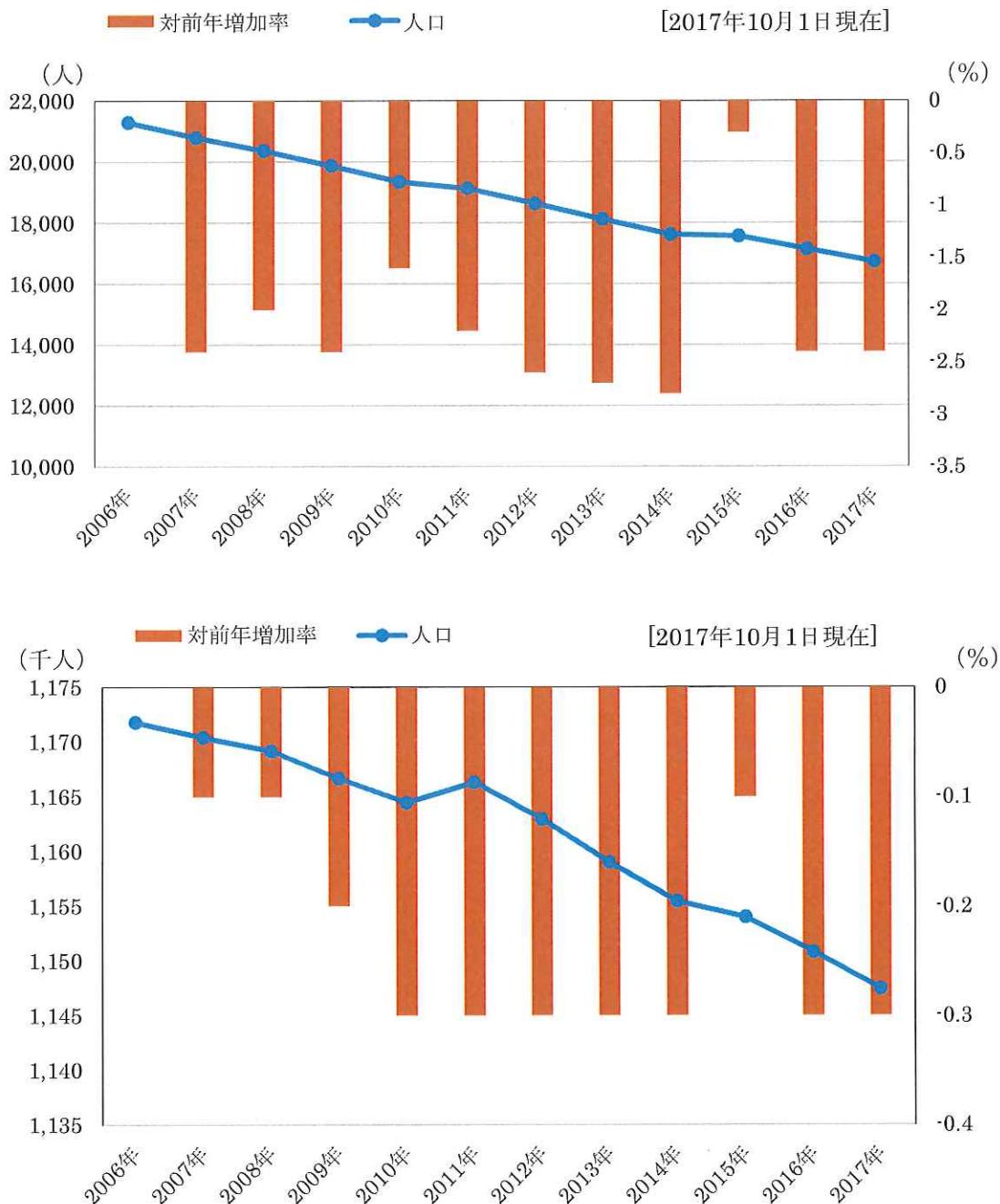
1. 能登町の概要

(1) 能登町の人口動態

① 能登町の人口の推移

- ・能登町の2017年10月1日時点の人口は、16,728人であり、前年より2.4%減少している。
石川県は0.3%の減少であるため、県の平均よりも人口が減少していることがわかる。
- ・2006年から平均して2.1%の人口が減少してきている。

図表：能登町[上]と石川県[下]の人口の推移対比

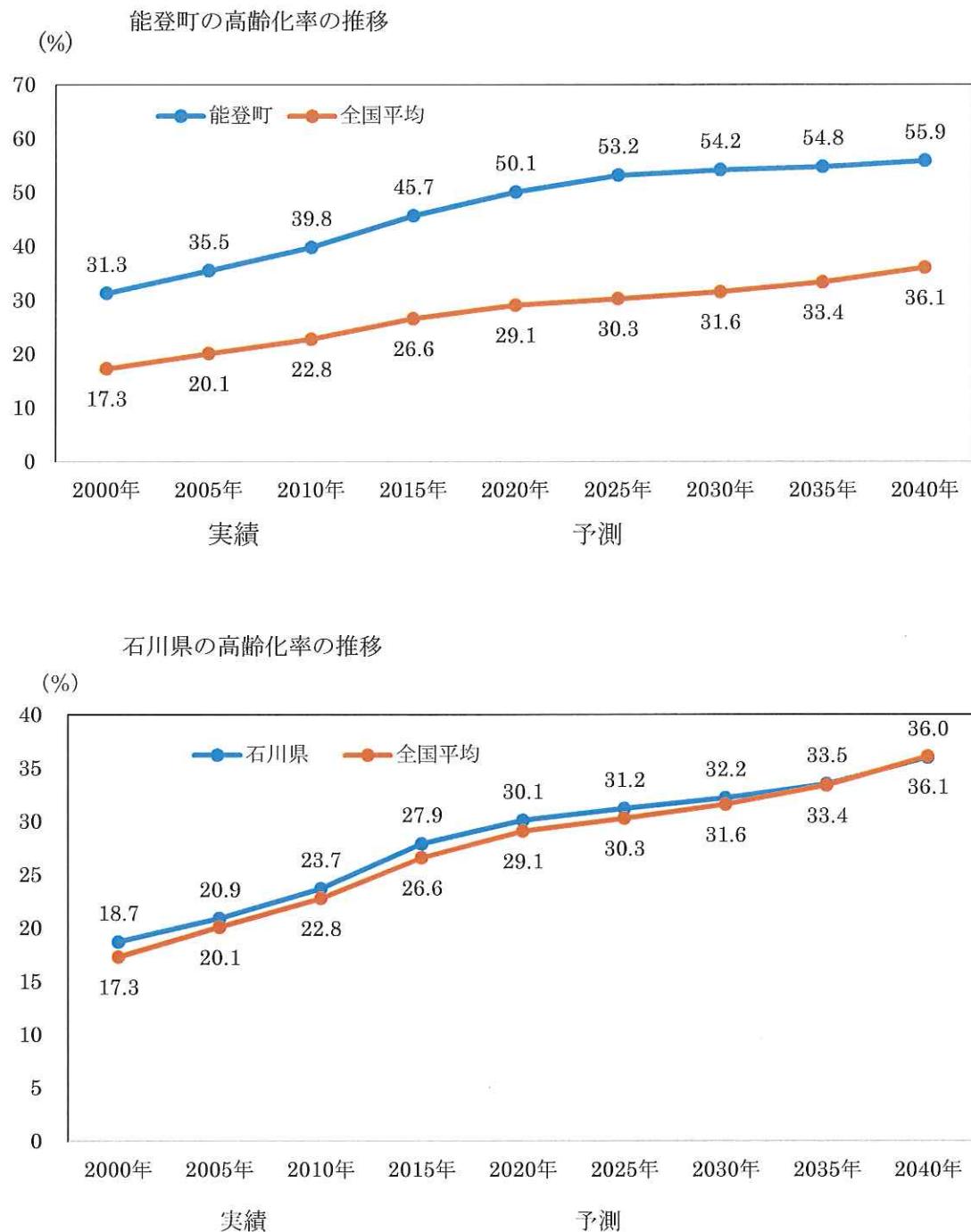


出典：石川統計指標ランドより筆者作成

(1) ② 能登町の高齢化率

- ・能登町の2015年の高齢化率（65歳以上の割合）は、45.7%で、全国平均より大幅に高かった。石川県全体は26.6%のため県内平均よりもはるかに高齢化が進んでいる。
- ・このまま高齢化が進んだ場合、2020年（東京オリンピック開催年）には50.1%まで上昇し、2人に1人以上が高齢者になると見込まれている。

図表：能登町[上]と石川県[下]の高齢化率の推移対比



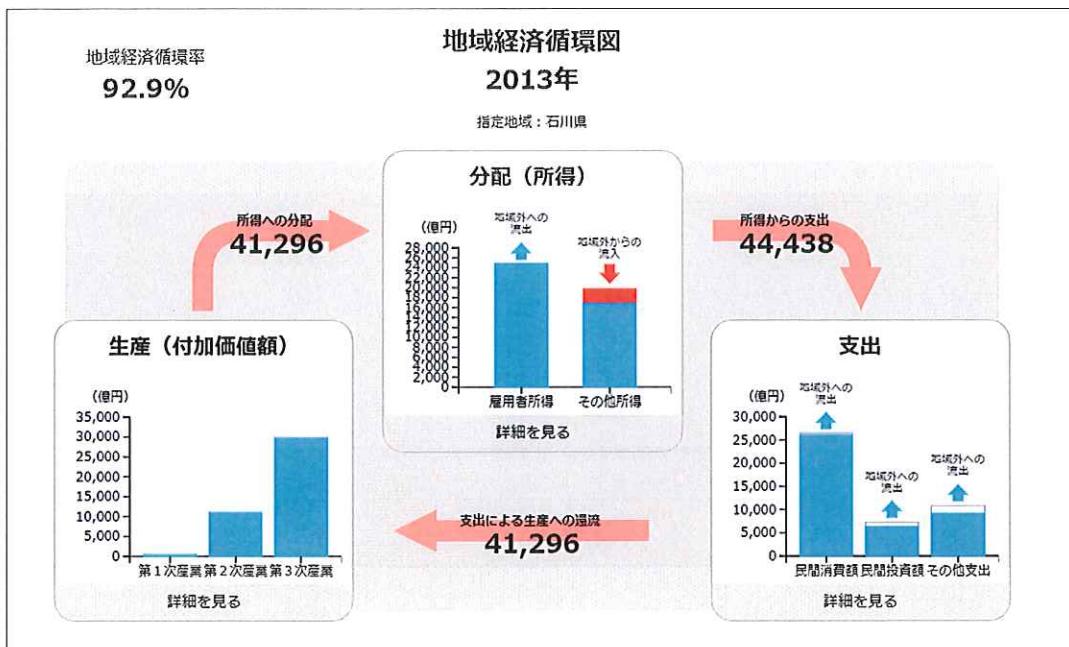
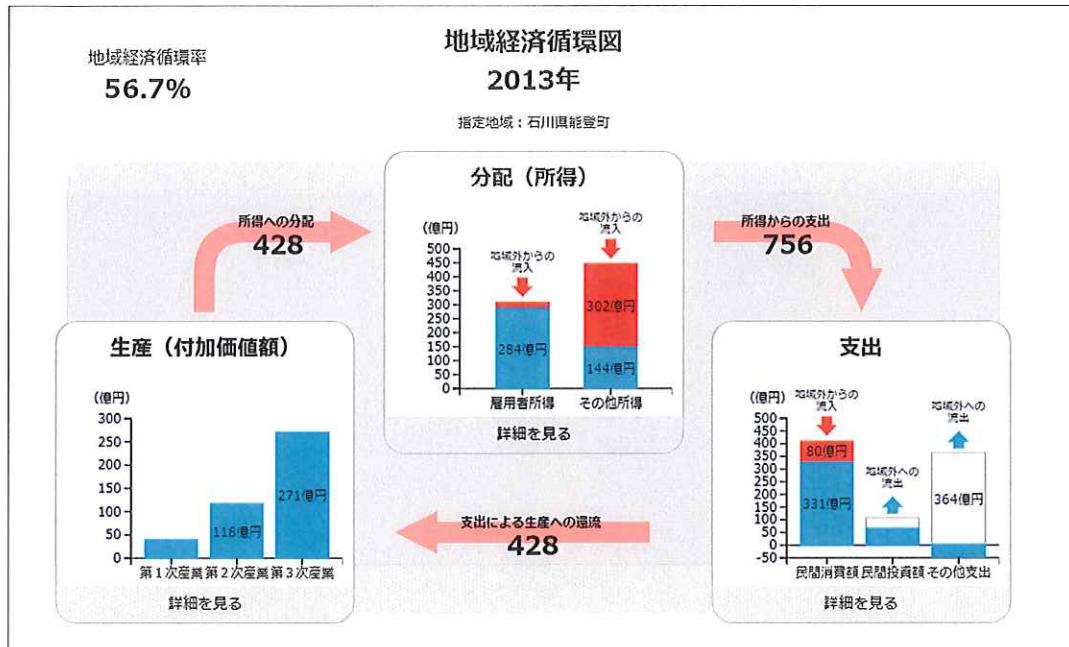
出典：石川統計指標ランドより筆者作成

(2) 能登町の経済動向

① 能登町の経済循環状況（2013年）

- 生産（付加価値額）を分配（所得）で除した地域経済循環率は、地域経済の自立度を示しており、値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。能登町の地域経済循環率は 56.7%と、石川県の 92.9%よりも低い。なお、隣接している富山県全体では 93.9%、福井県全体では 91.3%、岐阜県全体では 90.0%である。

図表：能登町[上]と石川県[下]の地域経済循環図比較



出典：経済産業省/内閣官房「R E S A S」より筆者抜粋

(2) ② 能登町の産業別経済循環と生産状況（2013年）

- ・能登町の一人当たりが生み出す付加価値額は、石川県の平均より低い水準である。1次産業と2次産業は平均以上であるが、3次産業は低く、そのため雇用者所得も石川県平均より低い。
- ・その他の支出の支出流入率でマイナス114.4%となっており、エリア内でお金を循環させる仕組みを重要課題として打ち出していかなければならない。

付加価値額（一人当たり）

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
能登町：付加価値額（一人当たり）	284万円	734万円	526万円
石川県：付加価値額（一人当たり）	244万円	684万円	719万円

所得（一人当たり）

	雇用者所得	その他所得
能登町：所得（一人当たり）	353万円	241万円
石川県：所得（一人当たり）	416万円	169万円

支出流出入率

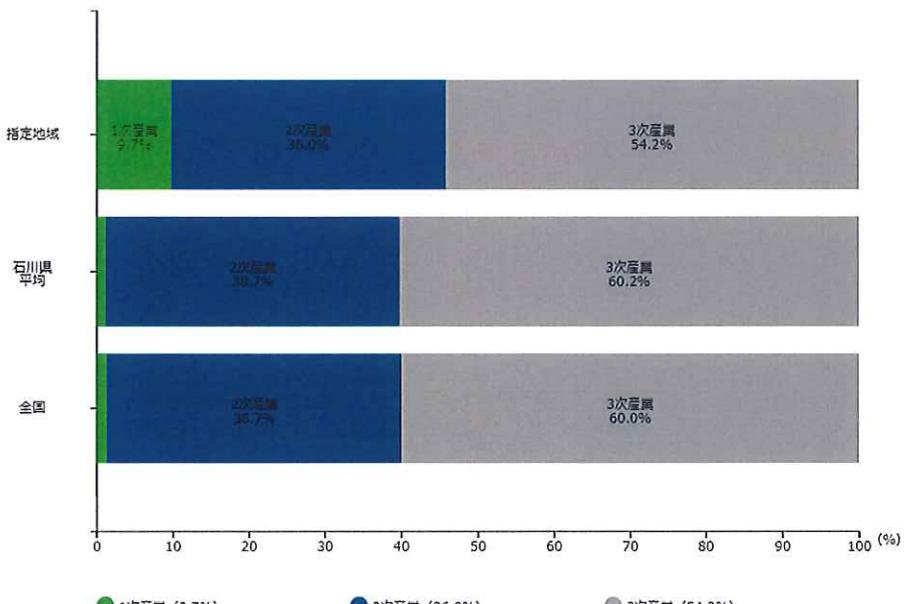
	民間消費	民間投資	その他支出
能登町：支出流出入率	24.2%	-40.7%	-114.4%
石川県：支出流出入率	-0.5%	-15.7%	-17.3%

出典：経済産業省/内閣官房「R E S A S」より筆者作成

●産業別生産額の対比

- ・能登町は石川県平均と比べ、1次産業と、2次産業の生産額の割合が高くなっている。

図表：産業構成の割合：精算額（総額）

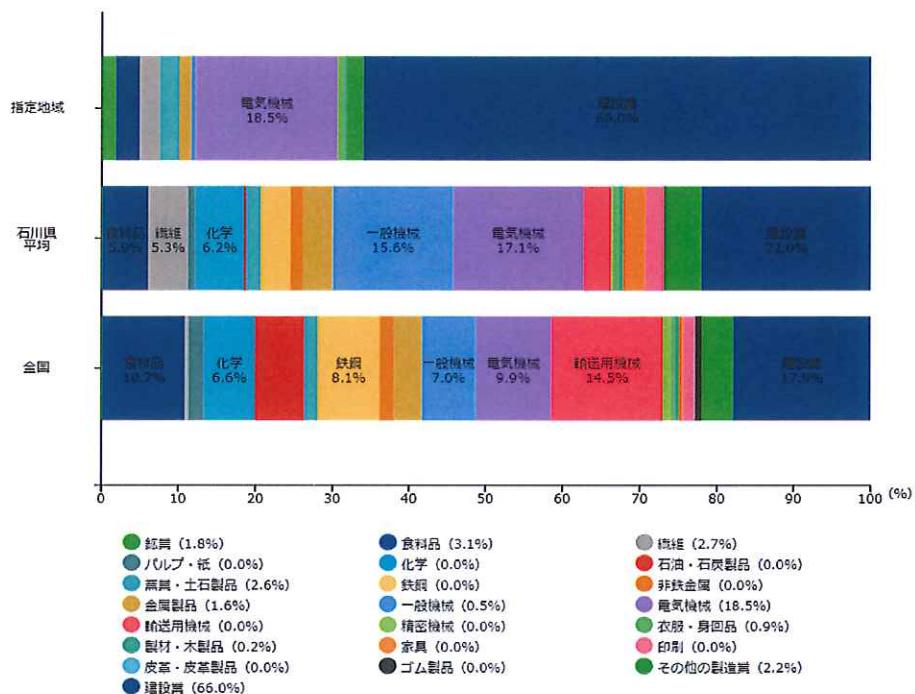


出典：経済産業省/内閣官房「R E S A S」より筆者抜粋

● 2次産業と3次産業内の生産額の割合

- 2次産業の生産額の6.6%が建設業に分類されている。

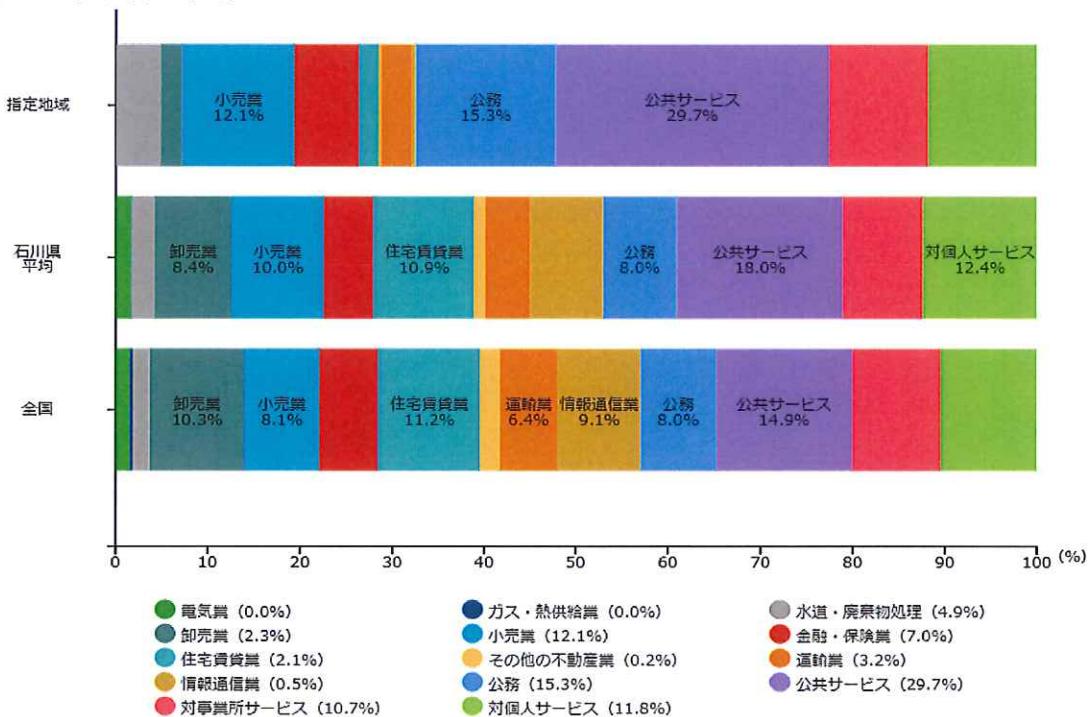
図表：2次産業の生産額の割合



出典：経済産業省/内閣官房「R E S A S」より筆者抜粋

- 3次産業では県平均に比べて不動産業の生産額割合が低く、サービス業による生産割合が高くなっている。

図表：3次産業の割合

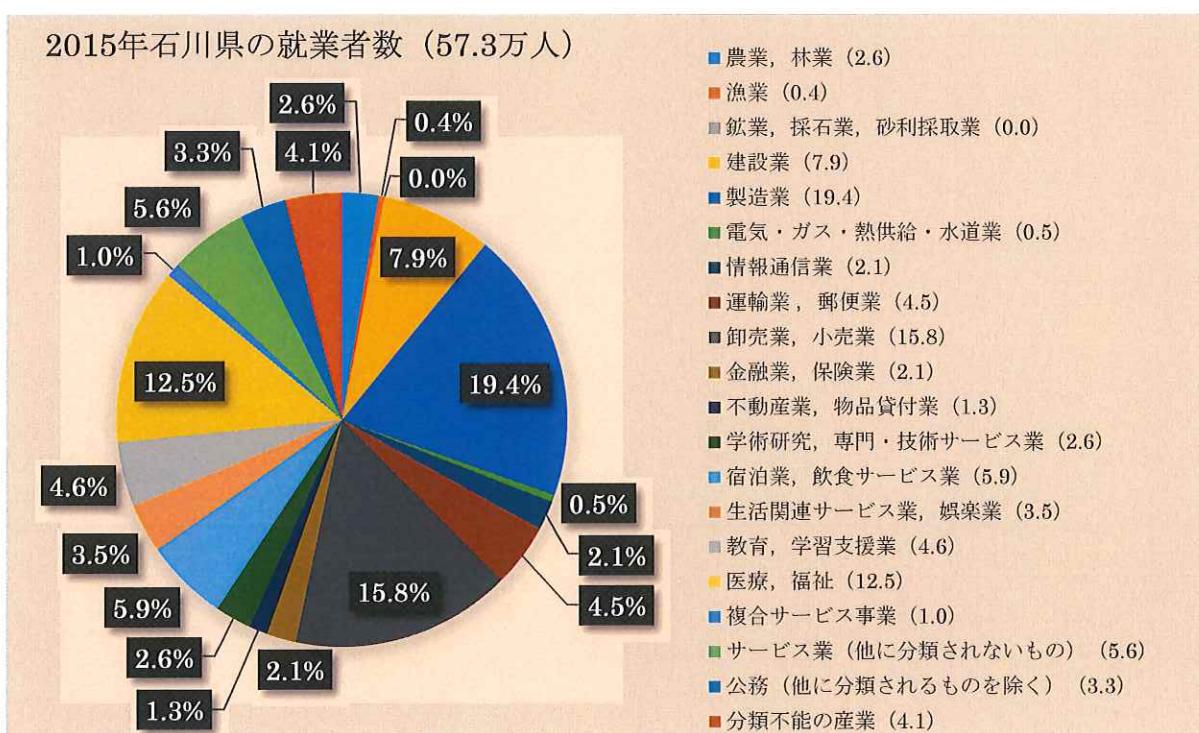
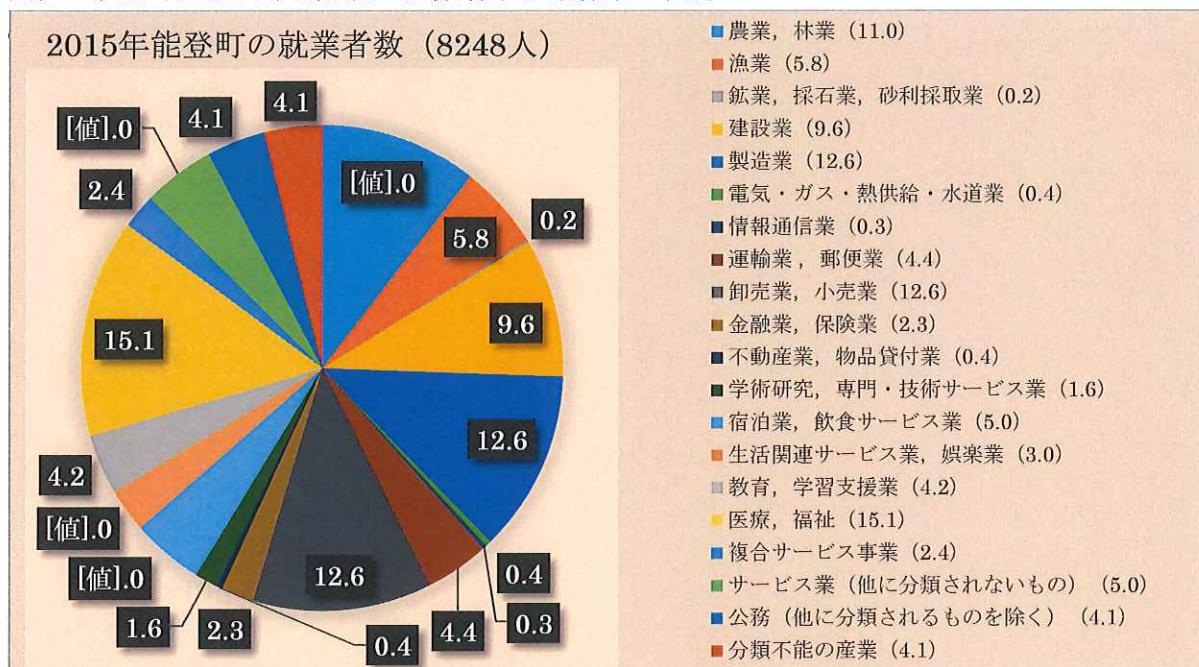


出典：経済産業省/内閣官房「R E S A S」より筆者抜粋

(2) ③ 能登町の産業別就業者の割合

- 能登町は石川県全体に比べて、1次産業就業者の割合が13.9%高く、2次産業の割合が5.1%、3次産業の割合が4.7%低くなっている。
- 2次産業では製造業の就業者が12.6%、3次産業では医療福祉15.1%、卸・小売りが12.6%が多い。

図表：能登町[上]と石川県[下]の産業/業種別就業者の割合

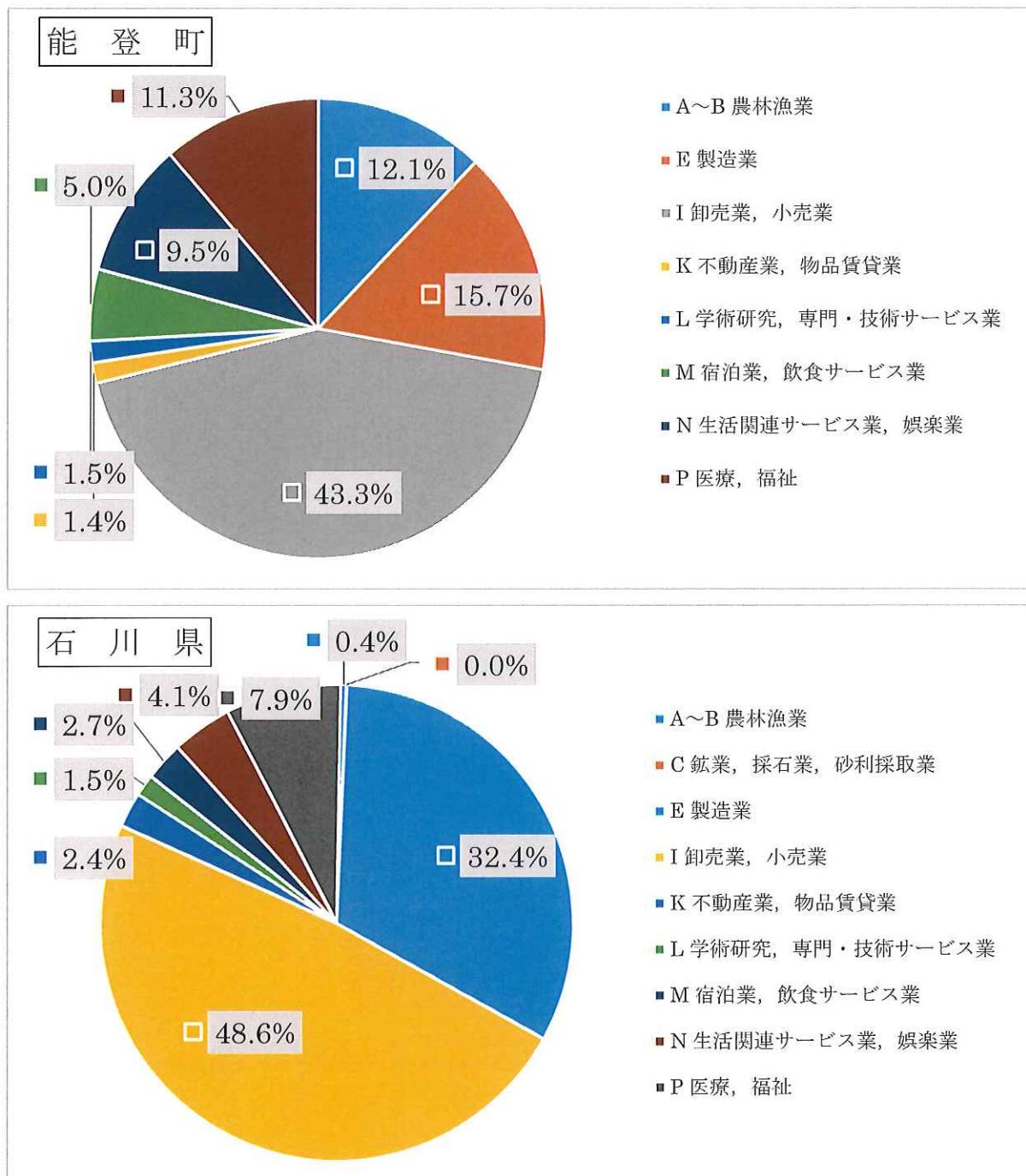


出典：総務省『経済センサスー基礎調査_平成26年』より筆者作成

(2) ④ 能登町の産業別売上金額の割合

- ・2015年、能登町で最も売上を上げたのはおろし小売業で、全体の43.3%の売上を占めている。その次には製造業が15.7%で続いており、この2産業が非常に重要な産業であることが分かる。

図表：能登町[上]と石川県[下]の産業（大分類）ごとの売上金額割合



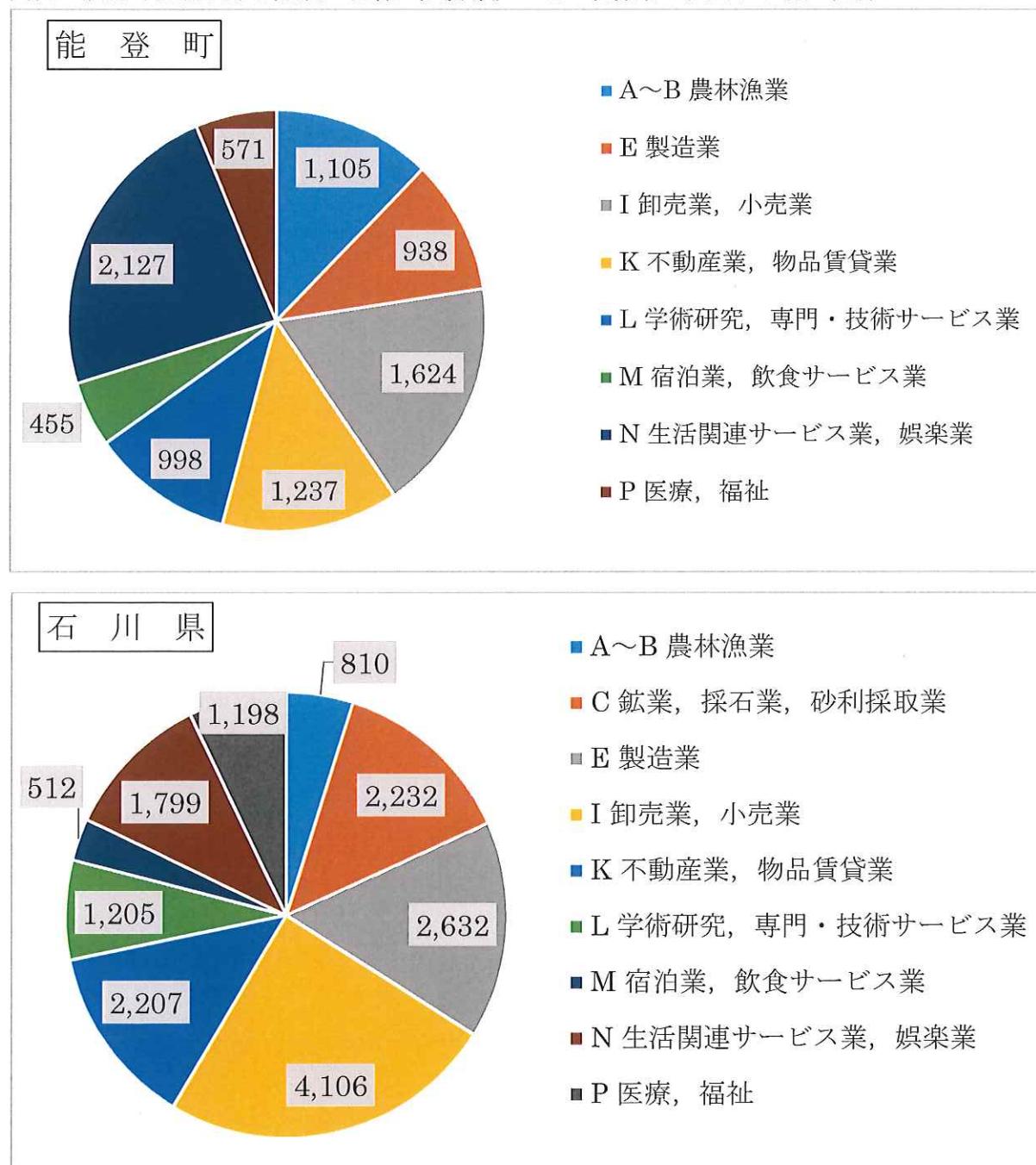
出典：総務省『経済センサス基礎調査_平成26年』より筆者作成

※ 建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業・郵便業、金融業・保険業、教育・学習支援業、複合サービス業（他に分類されないもの）、鉱業・採石業・砂利採取業は対象外

(2) ⑤ 能登町の1人当たりの産業別売上金額の割合

・2015年、能登町で最も1人当たりの売上高が高かった産業は、生活関連サービス業、娯楽業であった。石川県では、卸売業、小売業(4,106万円)が最も高く、能登町(1,237万円)と比べた場合、2,869万円の差がある。また、製造業をはじめ多くの産業で大きな差が発生している。まずは特化係数の高い産業などに絞り、重点的に振興施策を始めていくことが重要となってくる。

図表：能登町[上]と石川県[下]の産業（大分類）ごとの従業者1人あたり売上割合



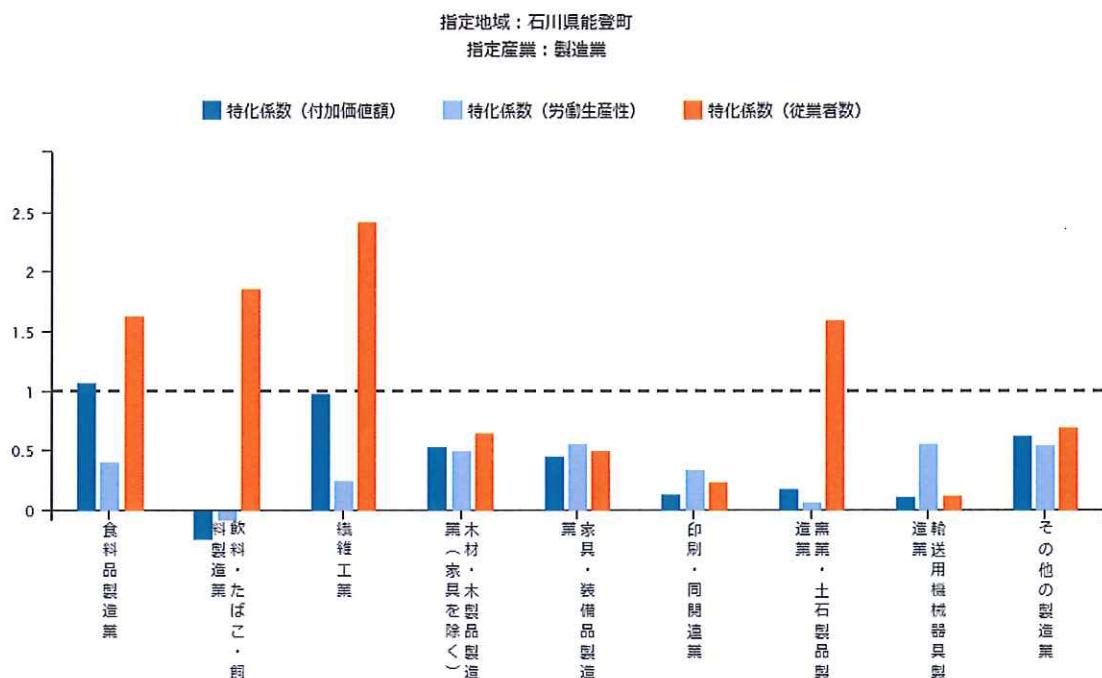
出典：総務省『経済センサス基礎調査_平成26年』より筆者作成

※ 建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業・郵便業、金融業・保険業、教育・学習支援業、複合サービス業（他に分類されないもの）、鉱業・採石業・砂利採取業は対象外

(2) ⑥ 能登町の産業別特化係数（製造業）

・付加価値額と従業者数の特化係数については、食料品製造業が全国平均に比べて上回っている。いっぽうで、ほか全ての業種が全国より下回っている。特に飲料・たばこ・飼料製造業の付加価値額と労働生産性はマイナスの値を示している。

図表：能登町の産業別特化係数



出典：経済産業省/内閣官房「R E S A S」より筆者抜粋

※特化係数：域内のある産業の比率を全国の同産業の比率と比較したもの。1.0を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。労働生産性の場合は、全国の当該産業を1としたときの、ある地域の当該産業の数値。

※労働生産性＝付加価値（企業単位）÷従業者数（企業単位）

以降は

第1次産業

第2次産業

第3次産業

の順に能登町の現状を確認していく。

能登町の第1次産業

能登町の農業

- 2015年の能登町農業経営者の平均年齢は68歳であり、石川県平均67歳、全国平均66歳に比べ高くなっている。65歳以上の経営者が約50%を占めている。
- 農産物の産出額は、平成27年で212千万円となっており平成26年に比べ5%ほど増加した。
- 経営体当たりの農産物の産出額は0.26千万円で、石川県平均0.37千万円及び全国平均0.64千万円を下回っている。
- 部門別産出額では、米が一番多く77千万円、続いて肉用牛36千万円、野菜33千万円となっている。
- 肉用牛は増加傾向にあり、乳用牛は減少傾向にある。

平成28年度 耕地面積

総土地面積	耕地面積	田耕地面積		畠耕地面積
		田本地面積		
27,327ha	1,980ha	1,320ha	1,260ha	659ha

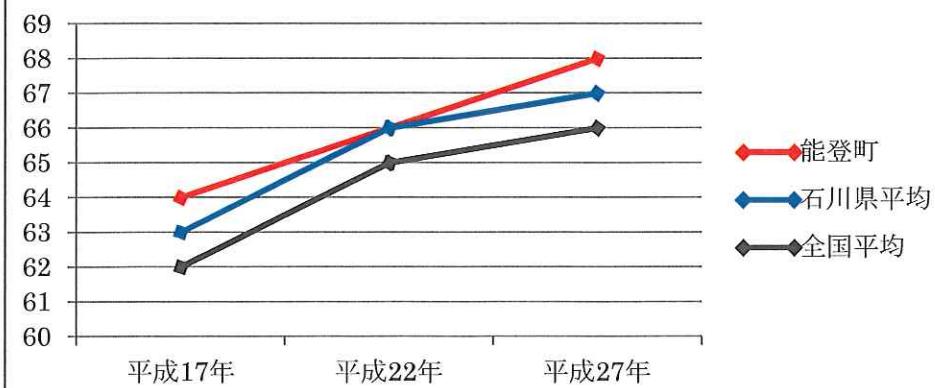
水稻

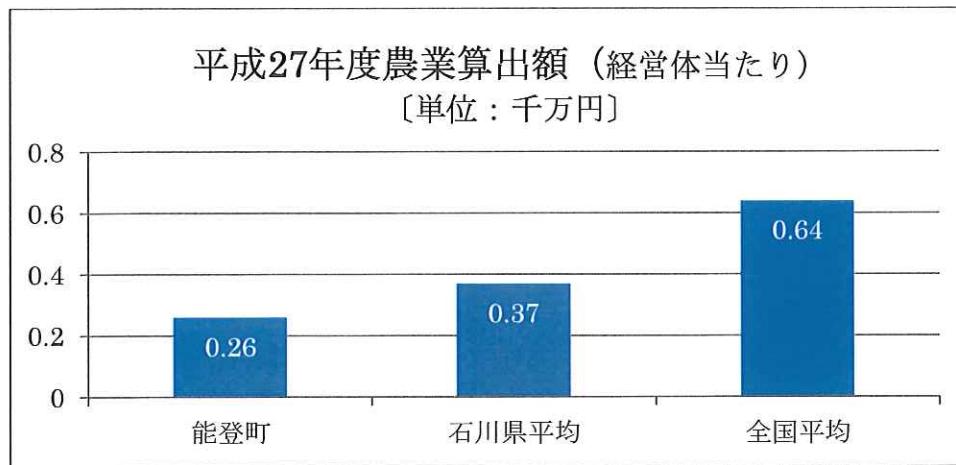
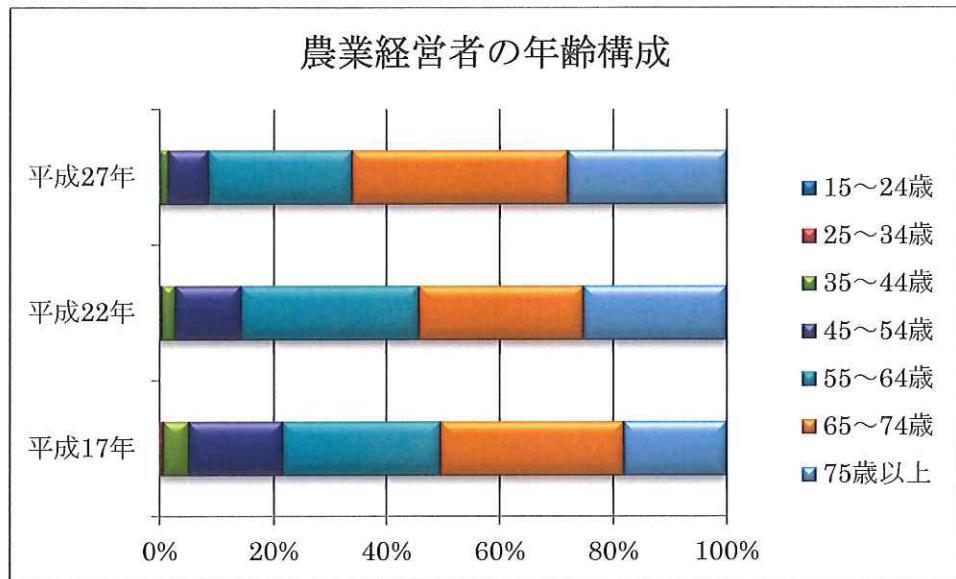
作付面積	10a当たり収量	収穫量
837ha	472kg	3,950t

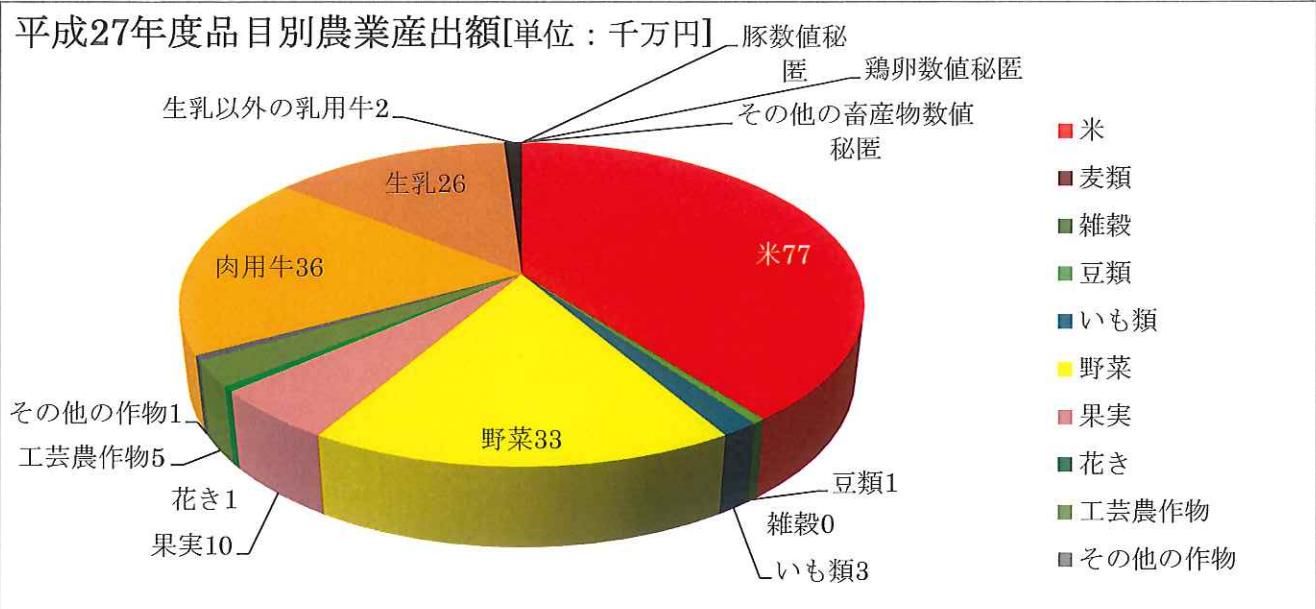
農業経営体	823 経営体
総農家数	1414 戸
自給的農家数	629 戸
販売農家数	785 戸
主業農家数	63 戸
準主業農家数	124 戸
副業的農家数	598 戸

出典：農林水産省「わがマチ・わがムラ」より筆者再編加工

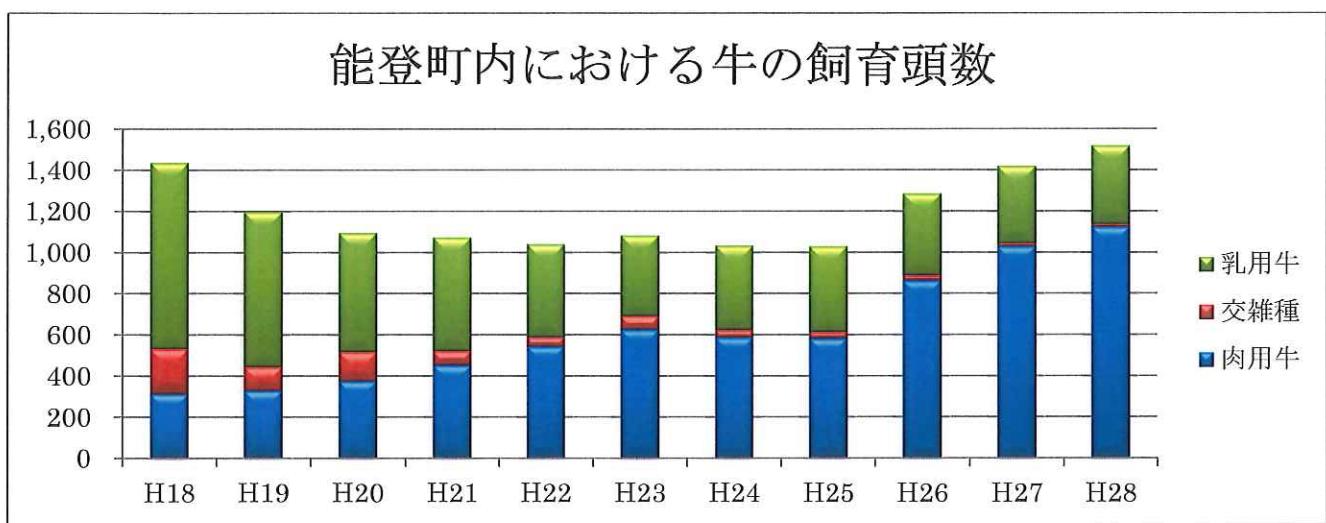
農業経営者の平均年齢







出典：経済産業省/内閣官房「RESAS」より筆者再編加工



※交雑種とは品種間の交配により生産された牛、例えば肉専用種と乳用種のかけあわせ

出典：能登町農林水産課より筆者再編加工

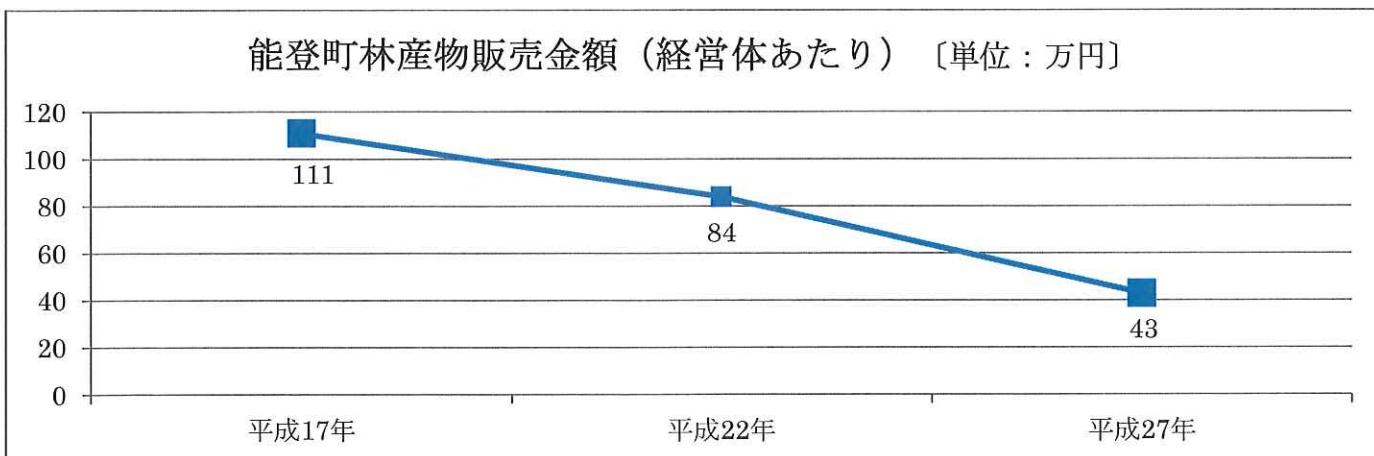
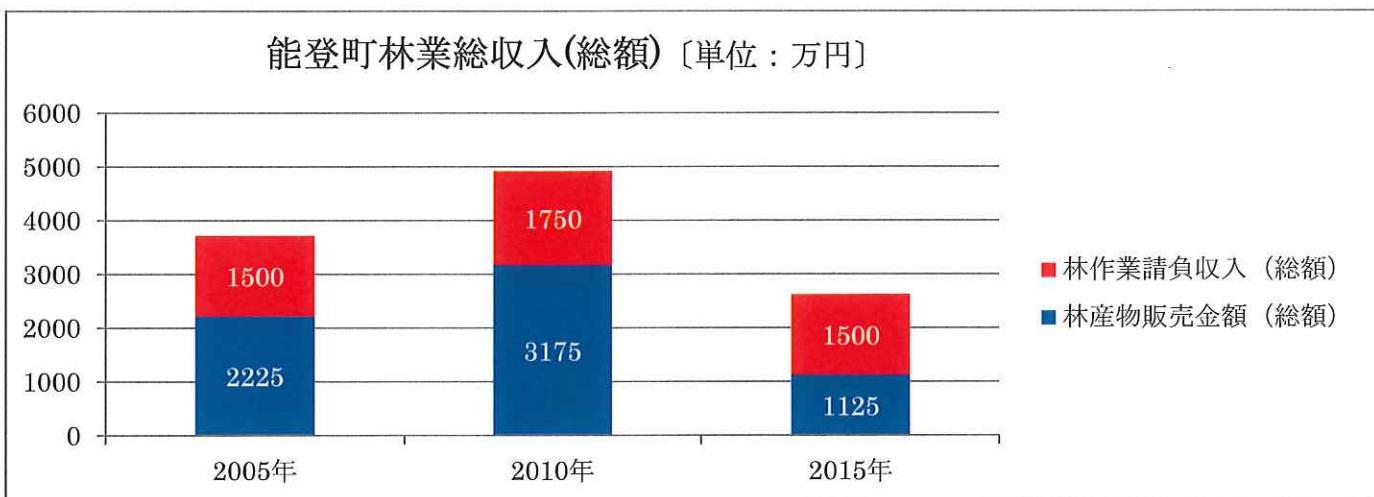
能登町の林業

- 能登町林業総収入は平成 27 年では 2625 万。
- 平成 27 年の経営体あたりの林産物販売金額は 43 万円であり減少傾向となっている。
- 平成 27 年の経営体あたりの林業作業請負金額は 375 万であり増加傾向である。

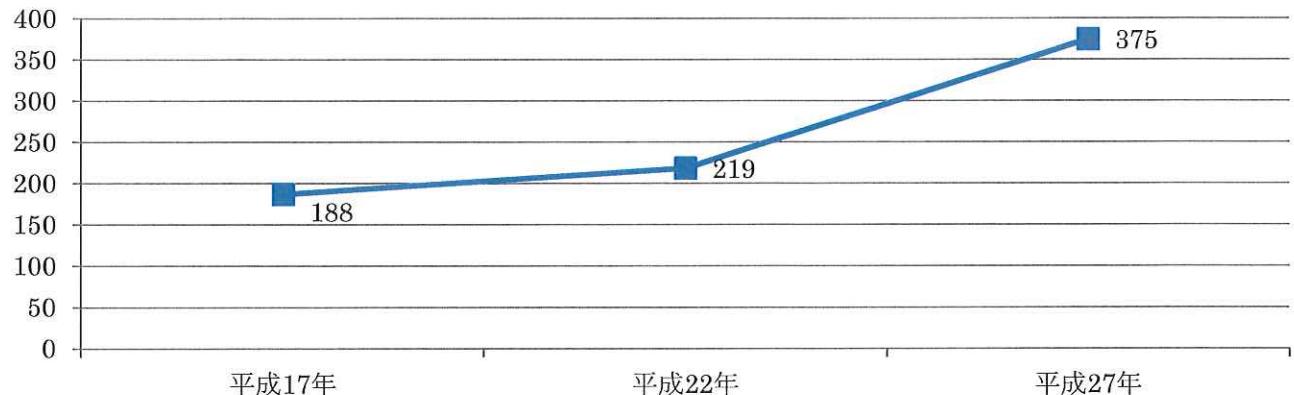
平成 28 年能登町林野面積

総土地面積	林野面積
27,327ha	20,345ha

林業経営体	234 経営体
農林水産省「わがマチ・わがムラ」より筆者再編加工	



林作業請負収入（販売経営体あたり） [単位：万円]



出典：経済産業省/内閣官房「RESAS」より筆者再編加工

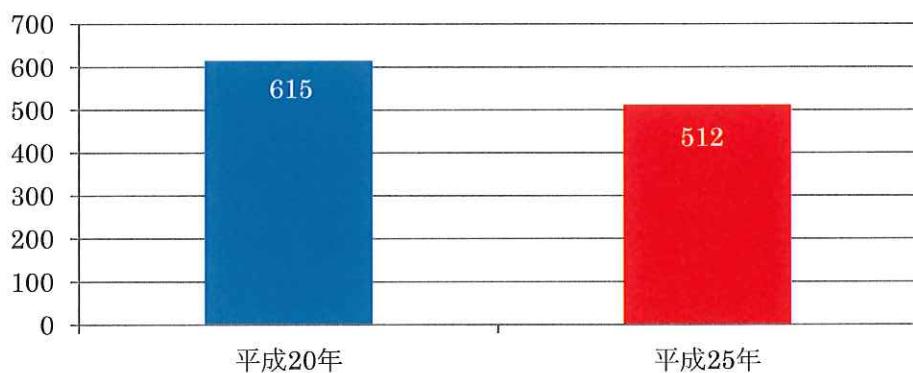
能登町の水産業

- 能登町海面漁業の就業者数は、平成 25 年で 512 となっており平成 20 年と比べるとマイナス 103 となっている。
- 平成 25 年の海面漁獲物販売金額は総額で約 52 億円。経営体あたり海面漁獲物等販売金額は 1873 万円となっており、石川県平均、全国平均に比べて高くなっている。しかし、経営体の約 60%が販売額 100 万円未満である。
- 平成 28 年の能登町の漁獲高は 5067 t。水揚重量で最も多いのは「まいわし」で全体の 54%、水揚金額で最も多いのは「ぶり」で 16% であった。

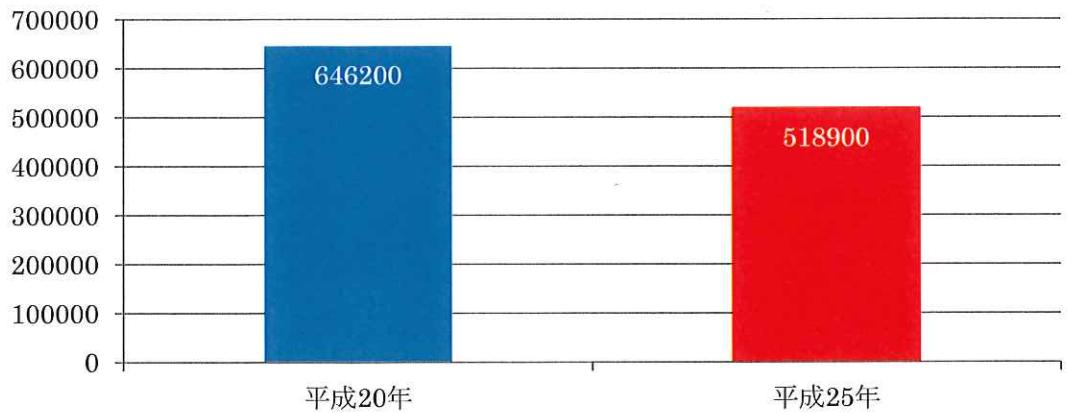
漁業経営体	277 経営体
個人	254 経営体
会社	18 経営体
その他	5 経営体

農林水産省「わがマチ・わがムラ」より筆者再編加工

能登町海面漁業の就業者数



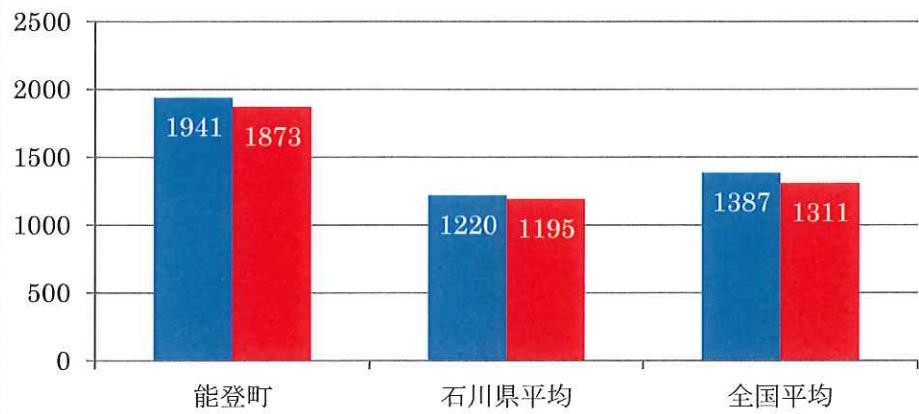
海面漁獲物等販売金額（総額）〔単位：万円〕



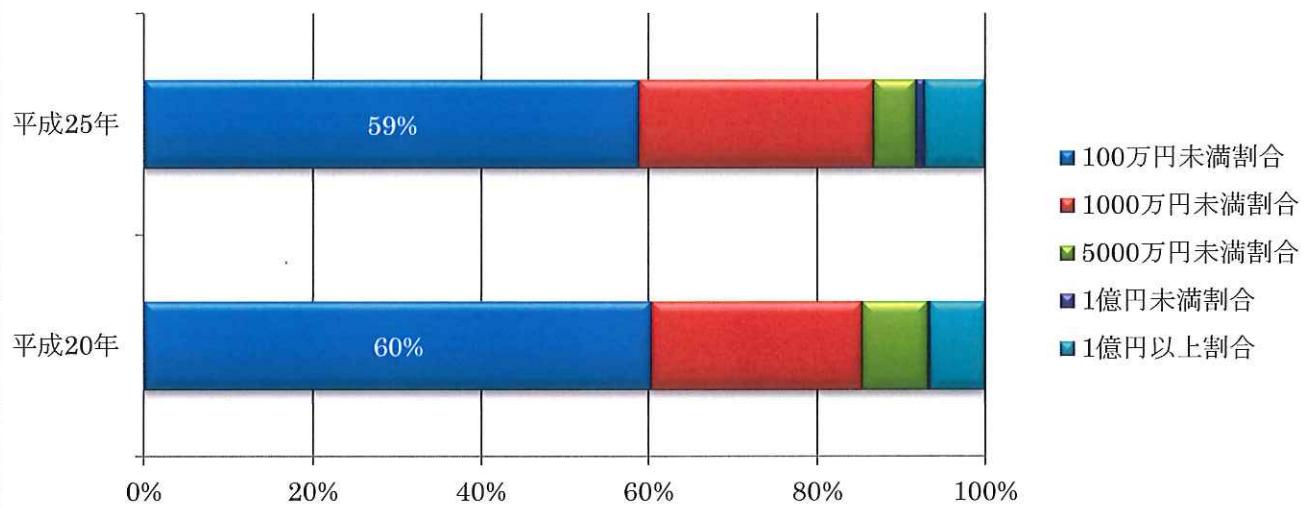
海面漁獲物等販売金額（経営体あたり）

[単位：万円]

■平成20年 ■平成25年

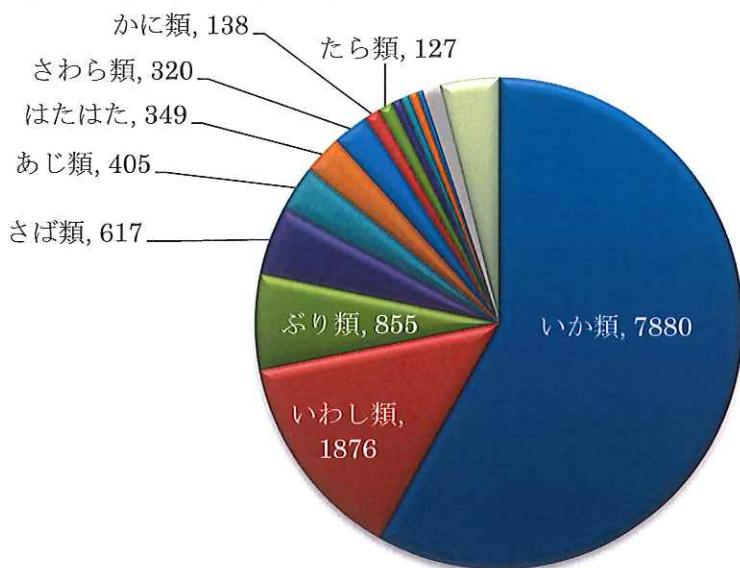


海面漁獲物等販売金額帯別の経営体の割合



出典：経済産業省/内閣官房「RESAS」より筆者再編加工

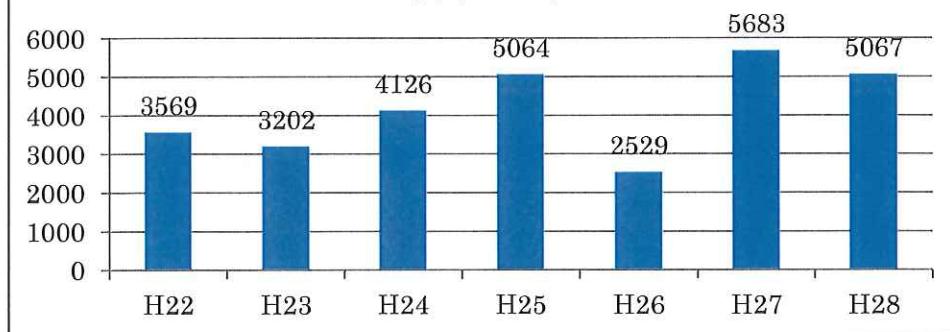
平成27年海面漁業の業種別漁獲量（能登町全体）〔単位：t〕



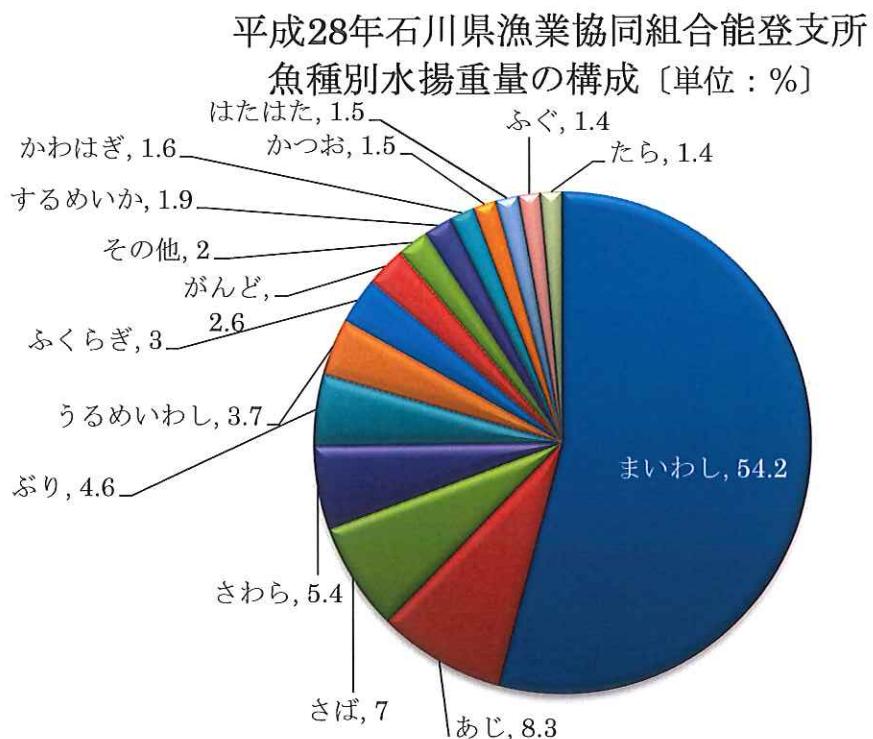
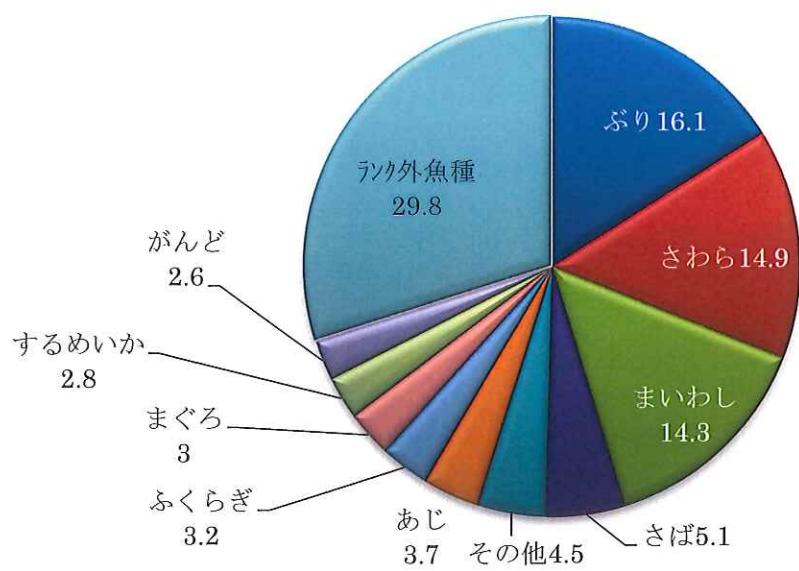
1	いか類	7,880	62.3%	11	たい類	81	0.6%
2	いわし類	1,876	14.8%	12	にぎす類	75	0.6%
3	ぶり類	855	6.8%	13	かつお類	56	0.4%
4	さば類	617	4.9%	14	貝類	36	0.3%
5	あじ類	405	3.2%	15	たこ類	30	0.2%
6	はたはた	349	2.8%	16	ふぐ類	28	0.2%
7	さわら類	320	2.5%	17	海産哺乳類	20	0.2%
8	かに類	138	1.1%	18	すずき類	19	0.2%
9	たら類	127	1.0%	19	まぐろ類	12	0.1%
10	ひらめ・かれい類	90	0.7%	20	海藻類	11	0.1%
					上位20種以外	533	4.2%
					合計	12,657	

出典：農林水産省「わがマチ・わがムラ」より筆者再編加工

石川県漁業協同組合能都支所合計漁獲量
〔単位：t〕



平成28年石川県漁業協同組合能都支所
魚種別水揚金額の構成 [単位 : %]

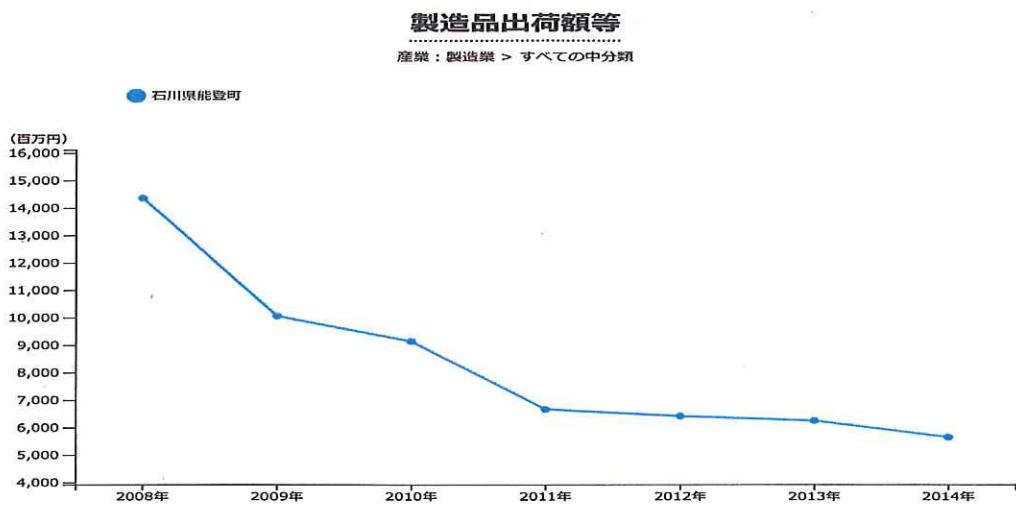


出典：石川県漁協能都支所より筆者再編加工

3. 能登町の2次産業

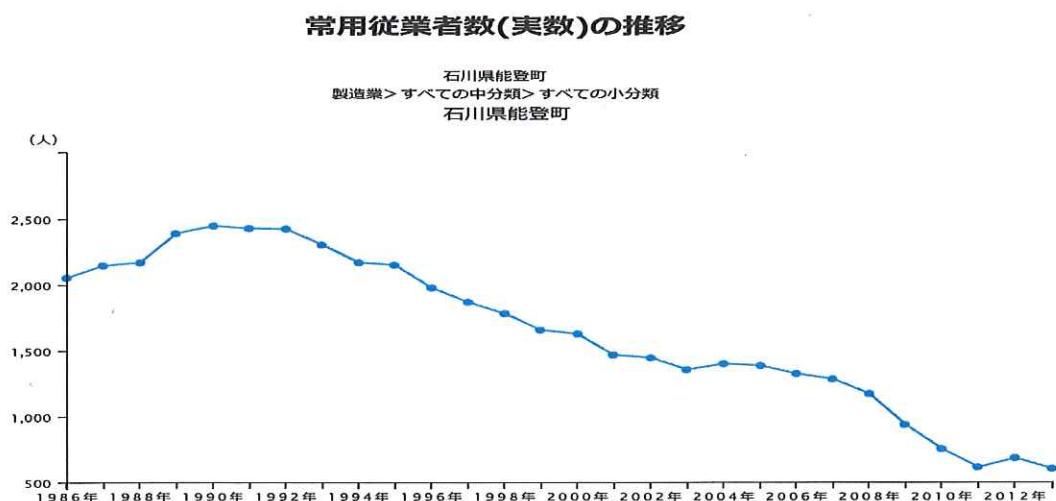
(1) 能登町の製造品出荷額の推移

2014年における能登町の製造業の製造品出荷額等は前年比9.6%減の5,667百万円。8年連続の減少。



(2) 能登町の製造業従業者数の推移

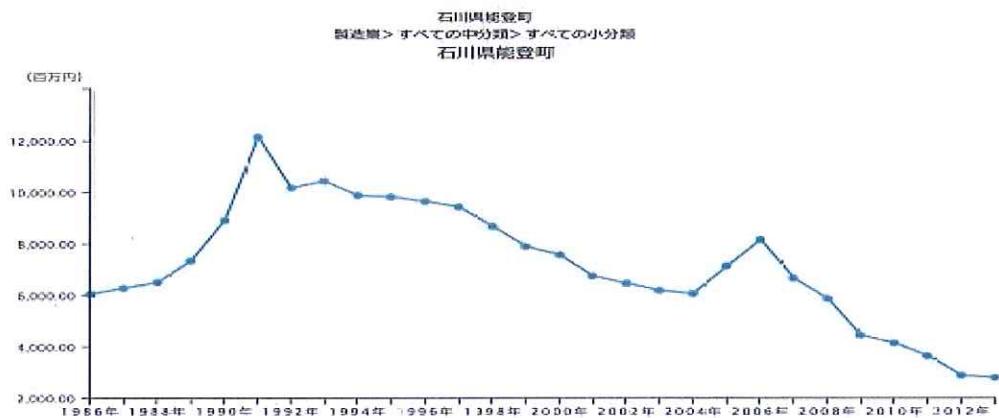
2013年における能登町の製造業の従業者数は前年比11.8%減の601人と減少した。2010年国勢調査によると、能登町の全産業の就業者にしめる製造業就業者の割合は12.9%(全国平均16.1%)。



(3) 能登町の製造業付加価値額の推移

2013年における能登町の製造業付加価値額は前年比2.9%減の2,790百万円。
7年連続の減少。

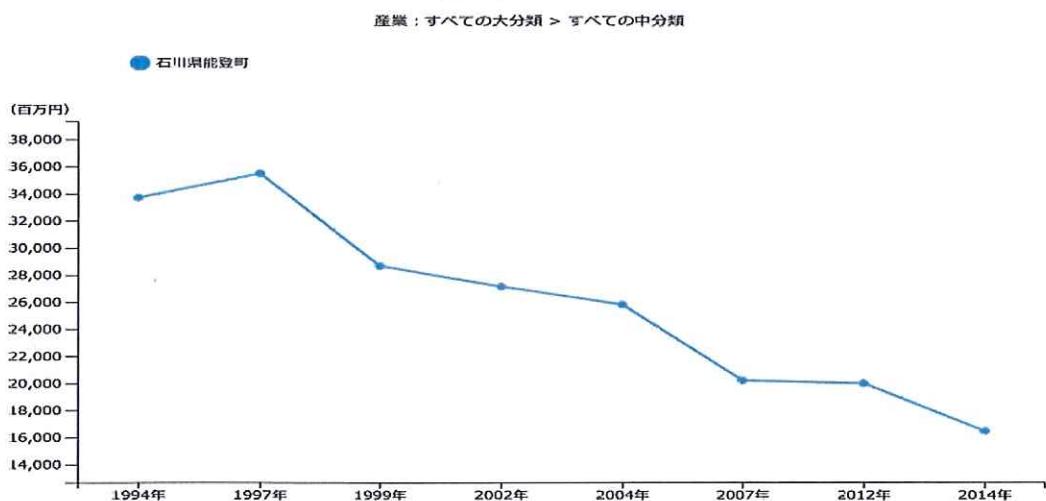
付加価値額(実数)の推移



(4) 能登町の商業年間商品販売額の推移

2014年における能登町の商業年間商品販売額は165.0億円。1994年以降の調査の中で最も大きい1997年に比べると46.4%の水準まで減少。
7年前の2007年調査に比べるとマイナス18.5%、37.4億円の減少。

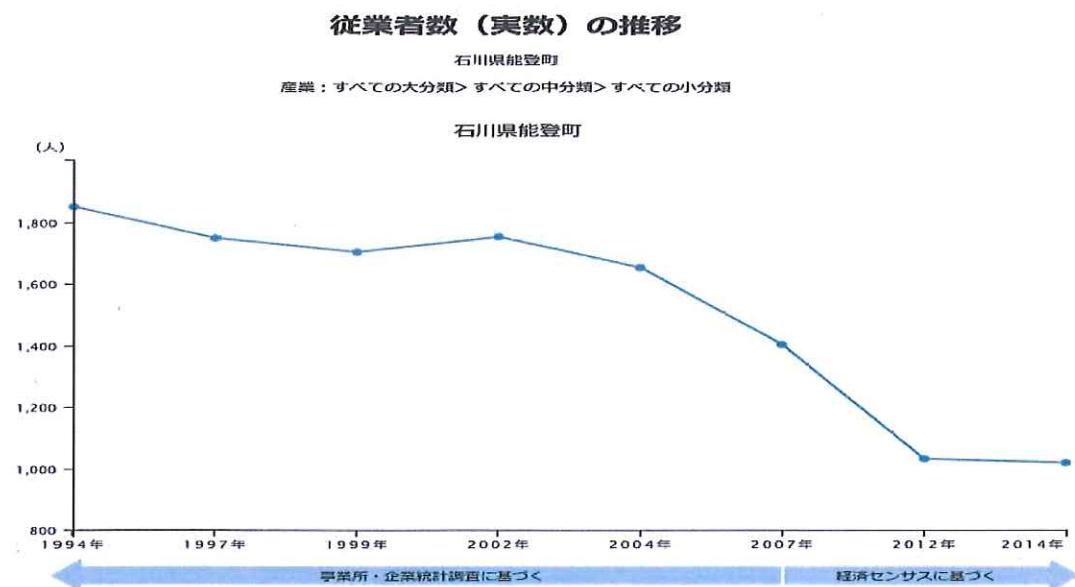
年間商品販売額



(5) 能登町の商業従業者数の推移

2014年における能登町の商業の従業者数は1,019人。1994年以降の調査の中で最も多い1994年に比べると55.1%の水準まで減少。

7年前の2007年調査に比べるとマ付27.4%、385人の減少。

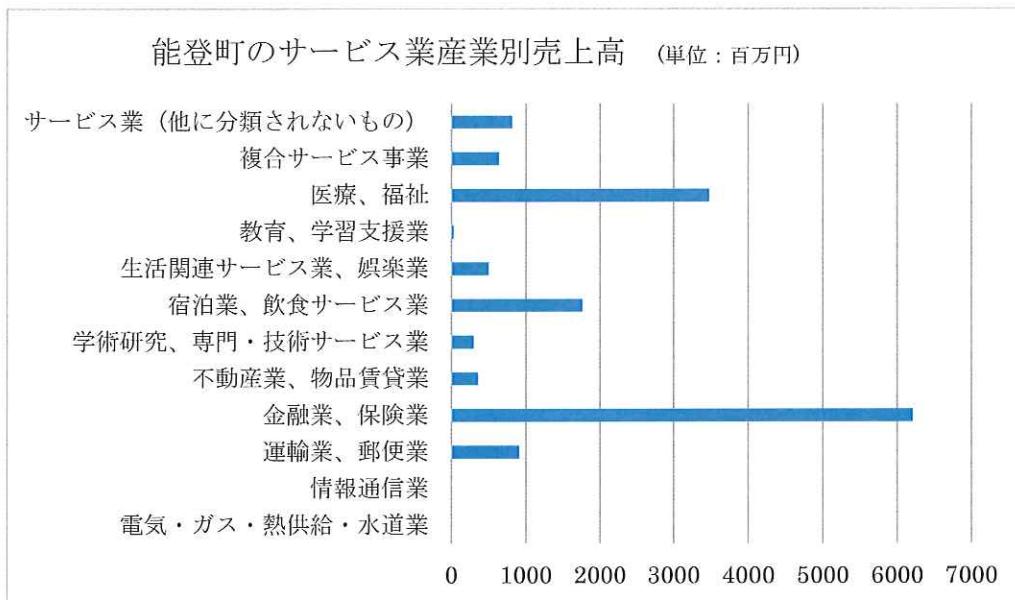


4. 能登町の3次産業

(1) 能登町のサービス業産業別売上高

2012年における能登町のサービス業産業別売上高は15,043百万円。

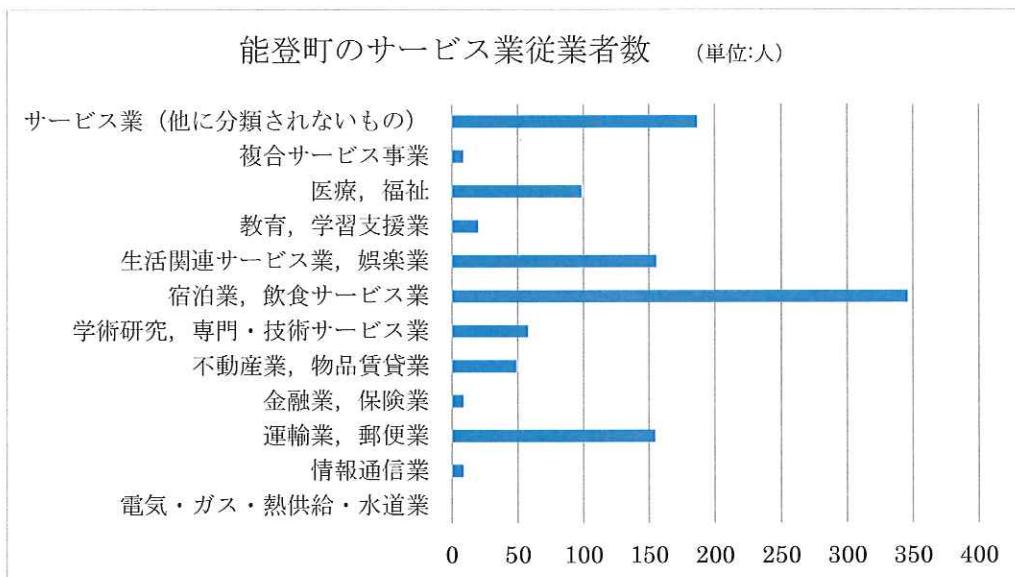
売上高の高い順に、①金融・保険業、②医療・福祉業、③宿泊・飲食サービス業。



(2) 能登町のサービス業従業者数

2014年における能登町のサービス業従業者数は1,097人。

従業者数の多い順に、①宿泊・飲食サービス業、②その他サービス業、③生活関連サービス業・娯楽業。



(3) 能登町のサービス業産業別付加価値額

2012年における能登町のサービス業産業別付加価値額は7,157百万円。

産業別付加価値額の多い順に、①金融・保険業、②医療・福祉業、③宿泊・飲食サービス業。

